

は じ め に

◆ 「紀州っ子の根っこを育てる学びの10か条」に込めた願い

和歌山市教育委員会は、「人は人によりて人となる」という理念のもと、「心豊かでたくましい人間」の育成を目指して、子どもの夢と希望を実現する教育の創造へと歩みを進めています。その歩みは学校だけではなく、学校が保護者や地域の皆様と手を結び、同じ目標を持って、一步一步確実に進めていくことが重要です。

これまでの全国学力・学習状況調査で明らかになってきた、和歌山市の子どもの学力や学習の基盤となる生活習慣の課題には、大きく次の5つが挙げられます。

- 早ね早おき朝ごはんの習慣、言葉遣いやあいさつなどのマナーをきっちり身につけること
- 家で、学校の授業の予習や復習など自分で計画を立てて勉強すること
- 読書をしっかりすること
- 普通の授業で、子どもどうして話し合い、自分の考えを発表する活動をしっかり行うこと
- 普通の授業で、自分の考えを文章に書いたり他の人に説明したりすること

これを受け、和歌山市教育委員会は、「学びの10か条」をまとめました。

今こそ、学校、保護者、地域が手を取り、それぞれの立場で、和歌山市の子どもの健やかで豊かな育成のために、なすべきことを明らかにして動き出さねばならない時です。

「学びの10か条」は、その指針です。

皆様のご理解とご協力をいただきながら、子どもの未来を見据え、この10か条が和歌山市の教育にしっかりと根付くよう根気強く取り組んでいきたいと考えます。

◆ 「紀州っ子学びノート」について

「紀州っ子学びノート」は、すべての教科の基盤である「国語力」の育成を企図して作成したものです。このノートを活用して、主につぎのような子どもの言語活動が展開できます。

- ①文章や資料に親しむ
 - ②言葉の知識を増やす
 - ③論理的な思考力・判断力を養う
 - ④多様な教材に出会い、読む楽しみを味わいながら視野を広げる
 - ⑤自分の考えを書いたり伝えたりするとともに、友だちの考えを聞き話し合い、相互理解を図る
- ノートの内容は、各学年で身につけたい国語の力を考慮したものになっています。

教材は、社会、自然、科学、文化、芸術などの分野から多様なものを取り上げ、子どもたちが興味・関心をもちながら論理的な思考を深め、表現していく力を身につけていけるようにしています。

また、ふるさと「和歌山」の自然や文化、社会、歴史、先人偉人などについても学べるよう工夫しています。

子どもが先生といっしょに楽しみながらノートに向かい、文章や様々な資料に親しみながら言葉の力や論理的な思考力を養っていくこと、経験や知識・情報を活用して、「熟考する・書く・まとめる・伝える」などの力を身につけていくことを願っています。同時に、このノートによる学びを家庭に持ち帰って会話をはずませ、子どもの興味・関心が日常に広がっていくことを期待しています。